

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年8月31日

号機

3

件名

油漏えいに伴う低起動変圧器の停止について（区分：Ⅲ）

【概要】

2022年8月30日、3号機屋外変圧器エリア（非管理区域）において、低起動変圧器[※]の錆取り作業中に当該変圧器の点検口の蓋から絶縁油の漏えい（滲み程度）を確認しました。その後、漏えいが継続していることから、漏えい箇所の補修のため、当該変圧器を停止いたしました。なお、漏えいしている絶縁油は適宜拭き取りを実施しており、外部への流出はなく、環境への影響もありません。

【対応状況】

漏えい箇所での絶縁油の滲みが継続していたことから、漏えい箇所の補修（シール材での漏えい箇所の閉止）を実施しました。そのことを踏まえて、9月6日に変圧器を起動した状態での漏えい状況を確認したところ、極めて微量（触れると油分を感じる程度）の油の滲みを確認したことから、当該変圧器を停止しました。現在、シール材の塗布範囲や塗布方法を見直し、補修を行っているところです。

（2022年9月8日までにお知らせ済み）

【対応結果】

上記補修を実施し、9月12日に変圧器を起動した状態での絶縁油の漏えいが無いことを確認したうえで、当該変圧器での電力供給を再開しております。なお、現在においても油の漏えいは確認されておられません。

※ 低起動変圧器

プラント停止中において所内電源へ電力を供給するための設備。

<補修前>



<補修後>



プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年9月14日

号機

3・4

件名

サービス建屋地下1階ダクト穴からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年9月13日午前10時20分頃、管理区域で作業するための保護衣・保護具の保管室（管理区域）にて、協力企業作業員が、「点検のため保温材を外した際に空調ダクトに穴(直径1cm程度、2箇所)が開き、その穴から空気が吸引されていること」を確認しました。10時50分頃、テープによる応急処置を実施し、当該穴からの空気の吸引は停止しております。

【対応状況】

その後、当該ダクトから吸引された空気が非管理区域側へ流れていたことが判明したため、ダクト穴周辺で放射能測定を実施し、汚染がないことを確認しております。
なお、本事案の原因等については、現在調査中です。

(2022年9月14日にお知らせ済み)

②

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年9月21日

号機

1

件名

港湾内への油の流出の可能性について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年9月12日、1号機屋外に設置している空調設備（非管理区域）において、微量の油漏れがあり、設備の停止および油漏れ箇所の養生等を実施しておりました。

（不適合情報として9月20日当社ホームページへ掲載済）

9月20日、9時34分頃、当該設備の状況確認をした当社社員が、空調設備の養生箇所から油膜が広がっていることを確認しました。油膜については、吸着マットによる回収を実施していますが、油膜は排水路に通じていたことから、極僅かに（数十cc程度）港湾内に到達した可能性もあり、10時45分に長岡地域振興局に報告しました。

【対応状況】

今後、本事案の原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。

（2022年9月21日にお知らせ済み）

③

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年9月27日

号機

-

件名

保安規定対象記録の未保存について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年9月8日、社内にてマニュアル改訂準備のため前回の実施状況を確認していたところ、マニュアル改訂時に添付する審査のためのチェックシート^{※1}（保安規定120条対象記録に該当）が見当たらないことに気づきました。

当該シートの検索と合わせて、過去10年分のチェックシートについて、その保存状況^{※2}を所内各所で調査した結果、9月27日までに合計5件について、同様に保存されていないことを確認しました。

なお、マニュアル改訂の際には、マニュアル総括担当箇所が必ず当該チェックシートを使用して第三者審査を行う手順となっており、マニュアル承認過程でチェックシートを必要とすることから、作成はされていたものと判断しております。

※1 マニュアルとして必要な要件（目的、要求事項、責任・権限、記録、改訂理由の明記など）を満たしているかを審査するためのチェックリスト

※2 原子炉施設保安規定では保存期間5年、マニュアルでは保存期間10年

【対応状況】

本件は当該チェックシートを適切に保存できていなかったという日常業務における不備と考えており、引き続き原因調査を行い、その結果を踏まえて対応を検討してまいります。

（2022年9月27日にお知らせ済み）

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年10月5日

号機

2

件名

高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の燃料配管からの油漏れについて（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年10月4日、2号機原子炉建屋付属棟地下1階、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機[※]室（非管理区域）にて、点検後の復旧作業に伴い燃料タンクからディーゼル機関への燃料（軽油）の通油作業を実施していたところ、燃料配管の継ぎ手部分から油漏れを確認したことから、通油作業を中止するとともに公設消防へ連絡しました。

現在、油漏れは停止しており、漏れ出た量は約100Lと推定しています。

なお、油の外部等への流出はなく、環境への影響はありません。

※ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機

外部電源喪失時に高圧炉心スプレイ系で使用する負荷へ電源を供給するための非常用の発電機

⑤ 【対応状況】

今後、油が漏れた原因を調査し、再発防止対策を講じてまいります。

（2022年10月5日にお知らせ済み）

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年10月11日

号機

発電所構内
(屋外)

件名

大湊側屋外（非管理区域）純水タンクエリアにおける傷病者の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年10月7日、大湊側屋外純水タンクエリアにおいて、純水タンク内面の塗装剥離作業を終えた協力企業作業員が、耳鳴りの症状があったことから17時頃に自家用車で病院へ向かいました。診察を受けた結果、「突発性難聴(両耳)」と診断されました。現在、耳鳴りの症状は回復しております。

【対応状況】

当該作業員へ聞き取りを実施したところ、騒音が発生する作業であったものの、耳栓を装着せずに作業をしていたことを確認しておりますが、現在、詳細調査中です。
引き続き、発電所関係者に安全装備品の確実な着用について周知・徹底し、再発防止に努めてまいります。

(2022年10月11日にお知らせ済み)

⑥

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2022年3月18日
号機	5	件名	原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年8月17日